



維新・半田市民の会
加藤美幸

市長公約の防災・危機管理事業とは

問 被災地へのボランティア参加推進の取り組みはどのようですか。

答 令和4年度から「被災地ボランティア応援事業」において、現地までの移動手段として大型バスを運行させます。復旧・復興支援だけでなく、被災や復興を直に体験し、防災減災に対する意識の向上や自主防災会へのフィードバックを目的としています。参加対象は、すでに自主防災会などで活動している方や、これから取組もうとしている方で、これまで被災地でのボランティア経験のない市民を主とします。活動は日帰りで食事や資機材は各自での用意となります。

問 個人や団体でのボランティア活動に対する補助制度があれば、迅速で柔軟な被災地支援ができ、活動の報告により多様な災害への備えに役立つほか、学生や若い世代の防災意識向上も期待されますが、市の見解を伺います。

答 自主性を重んじた活動へ補助を行う考えはありません。

問 高齢化やコロナ禍、希薄化などの問題をふまえ、自主防災活動の支援と共助の体制づくりについて伺います。

答 誰ひとり取り残すことのない防災を実現するためには、日頃から地域のみなさんが顔の見える関係を築き、共助の体制づくりを強化することが重要と考えます。これまでのように資機材購入の助成金、防災講話、防災訓練での指導を行います。また、市内の先進的な避難所運営の取組みを他の自主防災会へ紹介し、活動の活発化を図るほか、被災地ボランティア応援事業を始めます。

問 半田消防署の建て替えなど具体的な計画は、どのようですか。

答 知多中部広域事務組合と市で検討チームを立ち上げ、具体的な年次計画や場所などを検討していくために準備をしているところです。



チャレンジはんだ
水野尚美

みんなが楽しめるスケートパークを

問 半田運動公園のスケートボードコーナーは経年劣化が進んでいます。怪我や事故防止のため、施設の点検、環境整備はどのように行っていますか。また今後は抜本的な改修も含めどのような対策を講じますか。

答 開設以来20年が経過しており老朽化がかなり進んでいます。点検は開園前や巡回時に行っており、簡易な補修は職員、対応できないものは業者に依頼しています。今後は、スケートボードを取り巻く環境や、この先の動向も注視しながら抜本的な改修については判断していきます。

問 施設を安心、安全、快適に利用してもらうため、利用者の声をどのように聞き、どのような声が届いていますか。

答 施設巡回時に直接伺ったり、市長への手紙でも届いています。その内容としては施設の改修に関する声が多いです。今後も利用者のご意見



見を聞きながら整備、充実に努めます。

問 上級者と初心者、が困難な作りの施設だと思えますが、初心者用コーナーの設置は考えていますか。また半田運動公園以外にスケートボードを楽しめる場所はありませんか。

答 公共施設において、安心安全に楽しめる施設は半田運動公園のみであるため、初心者や小さな子ども向けの場所も提供できるように取組みます。

問 コロナ禍、東京オリトボード愛好者は増えており、今後増加が予想されています。一人でも始められる手軽なスポーツとして、青少年の運動不足の解消、戸外遊びの推進、国籍や年齢、障がいの有無を問わない交流スポーツとしてスケートボードの活用を提案しますがいかがですか。

答 スポーツ交流に活用できる可能性は十分あると思います。需要が広がり、夢や目標を持つ人も増えていることから、今後スケートボードを活用するために市民ニーズの把握や今後の動向を注視していきます。



チャレンジはんだ
伊藤正興

男性の育児参加の推進を進めよう

問 今後、男性の育児参加を推進するために新たな講座やイベントの開催が必要と考えますが見解を伺います。

答 育児に関する講座や育児行事について、名称や開催日時、PR方法の見直しを行い、父親一人でも気兼ねなく参加出来るよう努めていきます。

問 今後、市役所職員の育児休暇の取得率を向上させるために、どんな取組みをしますか。

答 制度の周知を強化するとともに、内容をより充実させた冊子を作成し、育児休業を取得するメリットを伝え取得率向上を目指していきます。



令和の時代の母子健康手帳を作ろう

問 コスト削減と地域経済の活性化を目的に、企業広告の採用を検討したことはありますか。

答 母子健康手帳は、妊娠・出産から子どもの成長発達までを記録する大切な手帳であり、情報を確実に伝える点や携帯の利便性を考慮すると企業広告の採用には至っていません。

問 母子健康手帳のイラストには、南吉童話がふさわしいと思いが見解を伺います。

答 現在、南吉童話など半田のオリジナルティを優先した選定は行っていませんが、今後は、母子健康手帳の目的にふさわしい表紙を取入れていきます。

問 母子健康手帳の名称を親子手帳又は親子健康手帳に変更することを提案します。

答 現在、国においても名称変更について検討が行われています。今後、国の方針も注視しながら、母親だけでなく父親が身近に感じ、大切に思ってもらえる手帳となるよう名称変更も含めて見直ししていきます。

市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)